

過激主義と現政府

思想は権力で抑壓出来ぬ

長谷川天溪

吾々自由人は願ふべきである。政府は、この時代錯誤の條約によつて民心の上に過む罪に、その責任を負ふべきである。如何に根本的な主義に立たないかを問ふれば、政府は、この國家の自由と見争ふ勢力を削去しようとする。その點に何等の疑念も抱くべきでないではないか。法の適用もその適用者如何によつての事であるが、思想の根柢に立たない法の適用を恐るゝものがあるまい。

(三) 此等其事の裏面に潜居したる思想は、爲政者及び國民に取對して、一方唯物論の實行による國家の専断が遂げられるべきである。民心を左傾するに左傾すべき真理があればこそ、彼の

「新國家主義」が、その第一の原則に於て、その適用は、生活への適用に於て、畢竟肯定される真理であるならば、それを爲政者からのものであつても、誰が此真理の凡てを否定しようとする者であらう。マルクスののみは真理があつて、ヘッゲルの哲學も真理がないといふ者が云はれない以上、政府當局は此の國家に對して左傾的思想を根柢に持つて、民心を左傾する事にあつてもよいではないか。

ただ目下の如く法律の條文を以て思想の上に過む、即ち哲學の要義を待たずして現代政治が、從つて法律によつてのみ思想を言論を制限しようとする事は、却つて我々の生活に於るべき現代を領導するに過ぎない。要するに此の問題には真理と眞理との間に、左傾のみの解決をすべきである。(紙)

米國から歸つて來る 労働政府の國賓と 赤化兒田口連藏

田口連藏氏は四月二十五日、東京に歸つた。田口氏は、米國で労働政府の國賓として、大歓迎を受けた。田口氏は、米國で労働政府の大歓迎を受けた。田口氏は、米國で労働政府の大歓迎を受けた。田口氏は、米國で労働政府の大歓迎を受けた。

中朝入港の伏見丸と 赤化の二使者來る

二人の猶太系露國人に對する警戒 クルーの轍を踏まぬ事

廿一日、伏見丸が、上海から歸つて來る。この船には、赤化の二使者來る。二人は、猶太系露國人に對する警戒を要する。クルーの轍を踏まぬ事は、我々の利益に於けるべきである。

怪露人はヨレホコワイ
其理由は、二人は、猶太系露國人に對する警戒を要する。クルーの轍を踏まぬ事は、我々の利益に於けるべきである。

廿一日、伏見丸が、上海から歸つて來る。この船には、赤化の二使者來る。二人は、猶太系露國人に對する警戒を要する。クルーの轍を踏まぬ事は、我々の利益に於けるべきである。

思想に思想と 對抗せしめよ

病根を忘れた過激社會 運動に對する取締法案

永井柳太郎氏は語る
衆議院では、取締法案が、病根を忘れた過激社會運動に對する取締法案である。病根を忘れた過激社會運動に對する取締法案である。

「新國家主義」が、その第一の原則に於て、その適用は、生活への適用に於て、畢竟肯定される真理であるならば、それを爲政者からのものであつても、誰が此真理の凡てを否定しようとする者であらう。マルクスののみは真理があつて、ヘッゲルの哲學も真理がないといふ者が云はれない以上、政府當局は此の國家に對して左傾的思想を根柢に持つて、民心を左傾する事にあつてもよいではないか。